

カナリア・ネットワーク全国 御中

大変お世話になっております。

2025年5月24日付でお寄せいただいたご質問に対して回答いたします。

1. (回答) 当工業会では、貴団体からのご質問に対し、「香りが移って物品を汚損する」といった事態は認識しておりません」と回答いたしました。一方で、貴団体が実施されたアンケートにありますように、“香りが移る”とのお声が会員各社に寄せられていることを当工業会として確認しています。また、香り成分の科学的な特性を踏まえると、特定の条件下において物質間で香りが移る可能性があることは否定できないと考えます。会員各社が製造販売する製品には、いずれも科学的にヒトへの安全性が確認された成分のみが使用されております。さらに、後述の通り、製品としての安全性も確認しております。仮に柔軟仕上げ剤で処理した衣類から他の物質に香りが移った場合も、香り成分の量は、もとの衣類に含まれる分量を超えることはありません。このため、安全性の観点から見て、「香りが移って物品を汚損する」とは認識しておりません。

2. (回答) ご認識の通り、柔軟仕上げ剤の基本性能より適正量を定め、適正量使用いただいた際にお客様の嗜好に合わせた香りの強さを提供できるよう品揃えをしております。適正量でご使用いただいた場合の安全性も確認して販売しております。また、香りが苦手なお客様にも柔軟仕上げ剤をお使いいただけるよう、香りの弱いタイプや無香料の商品もございます。

製品としての人体及び環境への安全性につきましては、配合している全ての成分について安全性を確認することに加え、製品の特性、用途、使用方法などを十分に勘案し、最新の科学情報を収集するなどして総合的な評価・確認を行っております。個別成分の安全性に関わる情報と、製品の使用場面で配合されている成分にお客様が接する態様等の情報の両面を考慮して安全性を評価し確認する方法は、国際的に一般的とされ広く用いられている安全性評価の手法です。

各社では、お客さまの「安全・安心」を最優先に、高いレベルの安全性を確保することに努めております。

日本石鹼洗剤工業会 事務局